

増える「老障介護」

第四章

卷之三

「親切周到な」LV
グにねがひすくし短い
障害のあら女性(30
代)が話しかけてきた。
した。「二十」「二十
歳にして、舞し出され
た紙に記入する
と繋がった足し算を
解いていました。
ソファに座りてテレ
ビを見る人やドンクリ
で遊ぶ人…。おのれの
が細田といひや様子
は「理解」そのもので
す。

みゆ井園(入所者)
めいなりとまた緊張が
ある。彼のお父さんも
最近亡くなつた。入
所する男性の方を振り
廻しながら、施設裏の
園部農田(やまとのみ
たん)を語ります。

入所者と家族の齢差
を感じてます。ある
親は「子供のきせ
うだ」と園部さんとの
刺を渡してあるから
私に何かあったらね。

性＝2日、埼玉県白岡市

卷之三

「Jの」「Jから」が、高齢の親が健常のある成人の子のことをケアする「老健介護」が近年増加している」というのが述べます。

「J」の家のあることは仲間（入所者）にとって気持ちは非常に持つて居る」と運営さんは笑顔で話します。

入所者が「たり前」
田舎生活を送るが
心を碎かず、國が
定めた規範や基準が低
く、十分な支援がやつ
されなく廻しを醫局
へんは廻さざるがゆゑ。
「國からの給付費
(補助金)を増やすこと
やれど、農園教を廃す
と、農園の効率も落葉

難い／＼社会的対応が求められる「老隣介護」。シローズで送りはじめるによう障害者ケア、家族から社会へ」と題してお読みます。題字とイラストは千葉県の金子隆太さん作成。

マス会などの季節行事、クレーパーみたい焼き菓子などのギッシュンジャーを一度だけ買えば、アントも開催していくます。12月には魔怒川温泉（柄木温泉）のホテル貸し切りの旅行を計画しています。

ひとりじゃ
ないよ。



「障害者ケア・家族から社会」

設置者が物理的
的問題が困難
の場合は、施設を出
し、入所者を保護する
施設については、施設を
出でて保護する事
が可能となつた。

ついで、職員室から1F側
まぐわいのねむらひなこ
たゞ。職員を大切にす
ねじ山が仲間を大切にす
かのじゆくひがみの施